

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第112号 2024年(令和6年)春号

発行：社会福祉法人三徳会
<https://www.santokukai.com/>



戸越台デイサービス
ご利用者作品

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp
杜松在宅介護支援センター
〒142-0042 品川区豊町4-24-15 TEL.(代)03-5750-7707 FAX.03-5750-7709

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
障害者計画相談支援事業所
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695
小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ・高齢者多世代交流支援施設「平塚橋ゆうゆうプラザ」
〒142-0054 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642 hiratuka-ow01@santokukai.com

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252
小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646

ICT機器の紹介

介護業界では少子高齢化の加速、労働人口の減少などの理由で介護職員の人材不足が深刻になっています。そのため、業務の効率化と負担軽減、介護サービスの品質向上、介護スタッフのコミュニケーションや情報共有のためICT化が求められています。

三徳会では以前から記録ソフトやiPadの活用、見守り機器などを導入していますが、新たに導入する機器もあわせてご紹介します。

ICT 機器	内 容
<p>記録ソフト</p> 	<p>パソコンやiPad、スマートフォンなどからご利用者の日々の記録を入力しています。体温や血圧、食事量、体重といった内容は、期間を指定して集計することもできます。</p> <p>また、日常の様子を写真で掲載することもできるので、文章では伝えにくいことでも写真で共有することができます。記録は全セクションで確認することができ、情報共有に努めています。</p>
<p>iPad</p> 	<p>パソコンでは1人ずつ入力しなければなりませんが、iPadでは体温や食事量などを一斉に入力することができます。</p> <p>持ち運びができる利点を活かして、様々な場所で記録ができることがメリットです。また、写真を撮って記録ソフトで閲覧することもできます。</p>
<p>見守りセンサー</p> 	<p>転倒事故などを未然に防ぐ対策として、カメラ型のセンサーを導入しています。赤外線で、ご利用者の行動をiPadやスマートフォンで見守ることができます。</p> <p>シルエットで映るのでプライバシーにも配慮されています。夜間帯などの職員が少なくなる時間帯に有効です。また、転倒事故が起きた後の検証にも使っています。</p>
<p>インカム ※マイクとイヤホン が一体化したもの</p> 	<p>三徳会の4施設の中では、先行して戸越台ホームで導入しています。スマートフォンに専用のアプリを入れて、骨伝導式のイヤホンを身に付けて使います。</p> <p>離れている複数の職員に一斉に連絡がとれるので、円滑なコミュニケーションが図れます。また、音声はアプリ内に文字として保存されるので、聞き逃しても後から確認ができます。</p>
<p>音声入力</p> 	<p>ご利用者の食事量や様子などの記録したい内容を、声を使って記録することができる機能です。パソコンでのキーボード入力が苦手な方でも文章を入力することができます。他の作業をしながら、パソコンに向き合わずに記録できるのが特徴です。</p> <p>会議の議事録など、長い文章を録音したものを文字に起こし、後から修正することも行っています。</p>

情報公開について

三徳会では、地域の皆様方および関係する方々に三徳会に対するご理解と協力をいただくため、令和5年度の決算の概要と事業報告を公開いたします。

紙面の関係からお知らせする内容は、概要のみとなっておりますが、詳しくお知りになりたい方は各施設の窓口にお申し出ください。

令和5年度決算の概要 (令和6年3月31日現在)

① 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,275,977	流動負債	228,355
固定資産	2,105,031	固定負債	202,596
		負債の部合計	430,951
		純資産の部	
		基本金	473,161
		国庫補助金等特別積立金	86,585
		その他積立金	1,062,462
		次期繰越活動収支差額	1,327,846
		純資産の部合計	2,950,056
資産の部合計	3,381,008	負債・純資産の部合計	3,381,008

② 財産目録

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産合計	1,275,977	流動負債合計	228,355
基本財産	709,598	固定負債合計	202,596
その他の固定資産	1,395,432		
資産合計	3,381,008	負債合計	430,951
		差引純資産合計	2,950,056

③ 事業活動計算書 (社会福祉事業区分)

(単位：千円)

科目	本部	成幸	戸越台	荏原	平塚橋	合計
サービス活動収益計	7,939	513,426	635,189	953,556	591,189	2,701,301
サービス活動費用計	22,246	550,945	644,669	989,081	594,562	2,801,506
サービス活動増減差額	△14,308	△37,520	△9,480	△35,526	△3,373	△100,205
サービス活動外収益計	50	385	515	740	135	1,827
サービス活動外費用計	1,958	1	16	19	1	1,996
サービス活動外増減差額	△1,908	383	498	721	134	△170
経常増減差額	△16,215	△37,136	△8,982	△34,804	△3,239	△100,374
特別収益計	0	3,205	14,183	13	0	17,402
特別費用計	0	2,746	14,315	0	42	17,104
特別増減差額	0	458	△133	13	△43	298
当期活動増減差額	△16,215	△36,677	△9,114	△34,791	△3,281	△100,076
前期繰越活動増減差額	47,557	527,237	230,067	356,820	188,469	1,350,151
当期末繰越活動増減差額	31,342	490,560	220,953	322,030	185,188	1,250,075
その他の積立金取崩額	20,000	0	0	0	2,725	22,725
その他の積立金積立額	0	0	0	0	0	0
次期繰越活動増減差額	51,342	490,560	220,953	322,030	187,913	1,272,800

- 三徳会では、法人が実施している社会福祉事業の財政状態、事業活動の成果及び収支の区分を報告するため、社会福祉事業区分を設定し、法人本部、成幸、戸越台、荏原、平塚橋の5拠点区分に分類しています。
- 合計に収益事業を含む科目があります。
- 千円未満を四捨五入して関係で縦、横の合計が一致しないものがあります。

令和5年度事業の主な実績 <各施設利用状況>

① 特別養護老人ホーム（令和6年3月31日現在）

施設名		成幸	戸越台	荏原	平塚橋	合計
定員		80	72	120	100	372
現入所者	男性	14	12	11	16	53
	女性	61	56	100	77	294
平均年齢		88.6	89.5	90.1	90.5	
最高年齢	男性	101	102	97	96	
	女性	100	107	107	106	
平均要介護度		3.5	3.7	3.7	3.5	
令和5年度新入園者		26	14	39	24	103

② 在宅介護支援センター

施設名		成幸	戸越台	杜松	荏原	小山	小山台	合計
要介護認定調査件数		116	149	191	135	177	205	973
相談者数		14,040	10,241	14,556	11,042	13,186	6,256	69,321
居宅支援件数		4,697	3,378	3,870	3,582	4,172	2,835	22,534
内訳	要介護1～5	1,331	1,235	1,132	1,480	1,252	1,123	7,553
	予防	3,366	2,143	2,738	2,102	2,920	1,712	14,981

③ 在宅サービスセンター

施設名		成幸	戸越台	荏原	小山	合計
基本デイサービス(定員)		20	30	40		90
基本デイサービス(延)		4,958	6,577	8,165		19,700
内訳	予防事業	1,600	2,236	2,535		6,371
	介護給付	3,358	4,341	5,630		13,329
平均要介護度		2.2	2.0	2.1		
認知症デイサービス(定員)		10	10	10	10	40
認知症デイサービス(延)		1,421	400	1,729	1,631	5,181
平均要介護度		2.2	1.9	2.1	1.9	
身近でトレーニング(延)			490	250		

身近でトレーニングは週1回実施(荏原は大規模改修工事のため10月～3月まで休止)

④ ショートステイ

施設名	成幸(16人)	戸越台(8人)	荏原(30人)	平塚橋(12人)	合計
利用者数(延)	823	977	8,267	1,696	11,763
平均要介護度	2.7	1.8	2.4	3.0	

⑤ 障害者計画相談支援

利用者数(実人数)	313(身体障害233、知的障害60、その他20)
-----------	---------------------------

成幸ホーム

屋上から見える？思い出の富士山



今日は天気も良く暖かったため、屋上に日向ぼっこに行きました。

職員が「昔は成幸ホームの屋上から富士山が見えたんですよ」とお伝えすると、Hさんは「あら、そうなの～」と言って、手で望遠鏡をつくり眺める仕草をされました。

「私はね、山登りが趣味でね、山の会に入っていたの。富士山も登ったけど、富士山は初心者が行くところね。もっと険しい山にも登ったし、山小屋にも泊ったわ。山小屋はほとんど雑魚寝状態だったけど、みんなでワイワイするのがとても楽しかったわね。」「山登りの醍醐味といえば、なんといっても頂上でご来光を見ることね。この感動は山登りをした人じゃないとわからないと思うわ、あなたも若いんだから山登りしてみなさい」と楽しそうに話してくれました。

戸越台ホーム

認知症サポーターステップアップ講座開催

戸越台中学校の生徒は、入学した年の7月頃に認知症サポーター養成講座を受講して認知症の基礎知識を学びます。そして、卒業前の3月頃には9年生（中学3年生）を対象に認知症サポーターステップアップ講座を実施しています。認知症の基礎知識をおさらいし、認知症の特徴や接し方などを勉強します。

受講後に実施したアンケートでは「お年寄りにはやさしく接したいと思います」「町で困った人を見かけたら、自分にできることをしたいと思います」などが書いてあり、とても心が温まりました。

生徒の皆さんは4月から新しい生活がスタートして、これから様々な経験をすると思いますが、今回の講座が新生活に役立つことを祈っています。



荏原ホーム

ショートステイもお引っ越し！



在宅サービスセンターに続いて、令和6年3月より荏原ショートステイが仮設エリアに移転しました。旧保健センター2階の大部分がショートステイの居室、食堂、団らん室、廊下へと生まれ変わり、広々とした開放的な空間となりました。従来は個室ないし2人部屋でのづくりでしたが、仮設エリアでは4人部屋が6部屋となり、24名の方がご宿泊いただけます。

ショートステイの改修工事は令和7年8月に完了し、9月より施設に戻ります。まだまだ工事は序盤戦で、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、今までとは一味違った荏原ショートステイ、ぜひご利用ください。



平塚橋ホーム

倉庫で発見！



3月も終わりに近づいたある日、ユニットの倉庫を整理していると、昔購入したビーチボールを発見しました！そこで午後の少しのんびりした時間にビーチボールを使ってボール投げ大会を開催しました。

職員がボールの投げ方やキャッチの仕方を説明しました。皆さんがボールを受ける際の構え方はさすがで、上手にキャッチできていました。しかし、いざ投げるとなると最初はうまくできず、投げる回数を重ねるうちにうまく投げることができるようになりました。

中には張り切りすぎて車いすから身を乗り出す方もおり、思わず「危ないから座って投げてください」とお願いをする場面もありました。

それでも、「楽しかったわ」「またやりましょう」という声も聞かれ、盛り上がった時間となりました。



成幸ホーム 合同防災訓練

令和6年3月6日(水)



このたび近隣町会と荏原消防署の協力のもと成幸ホームで合同防災訓練を開催しました。

当日は中延一丁目町会、中延二丁目町会、東中延一丁目町会、西中延一丁目町会の方々に参加していただき、火災を想定した避難訓練、水消火器を使用した消火訓練、消防署のシミュレーション機器を使用したの119番通報訓練を行いました。

避難訓練では、デイサービスの利用者さんに防災頭巾をかぶっていただき、町会の方の協力のもと実地避難をしてもらいました。訓練終了後、参加したデイサービスの利用者さんは、「防災頭巾をかぶると、戦争中を思い出すわね」と防空壕に避難されたときの体験をお話されておりました。

続いて水消火器を使用するの消火訓練です。始めに、消防署の方より消火器の扱い方の指導を受けましたが、町会の方々は日々訓練をされているのか、消火器を手に取りピンを抜き、火元に向かって放水するまでもとても慣れており、われわれ職員のほうがあたふたしてしまいました。

そして119番通報訓練では、シミュレーション機器を使用して、消防署署員を相手に119番通報をしましたが、住所を伝える際は、〇丁目△番地□号と正確に伝えるよう指導を受けました。今回の訓練を通じて自助・共助・公助の必要性を学び、地域をあげての活動が重要となることが改めて実感できました。

職員リレーエッセイ



戸越台ホーム
機能訓練室

岩瀬 愛

令和5年を振り返って

令和5年3月15日、面接のために初めて戸越台ホームに来ました。人事担当の方の説明を受け、施設内を見学させていただきました。その日は機能訓練室で身近でトレーニングを行っており「わあー、こんなにハードなトレーニングをするの?」と内心びっくりしました。デイルームへ向かう途中、この施設は窓が大きくて沢山あり空気が淀んでないなあ。大崎のビル群や大井町阪急などが見えて1枚の大きな風景画みたいだと思いました。「ジャンボ飛行機や新幹線の行き来も見えます」とお聞きし、この景色に魅了され「ぜひここで仕事をしたい!」と強く思いました。無事に“就職”することができ、大好きな景色をみながら、あっ!!という間の1年間でした。そして最後になってしまいましたが、私を感じたように8階から見た風景を「とっても広くて気持ちがいいね、開放的で明るいね」とおっしゃってくださる利用者の皆さま、本当にありがとうございます。

骨乃骨乃 まめに動いて いつの間にやら 貯筋(?)が出来た
皆で目指そう きんさん きんさん

これからもどうぞよろしく願いいたします。

辞令伝達式



令和6年4月1日(月)に今年度採用職員の辞令伝達式が成幸ホームで行われ、今年も三徳会に新しい仲間が加わりました。

新人職員は緊張した面立ちでしたが、理事長から一人ひとり辞令を受け取り、新しい職場へと向かっていきました。今年の新人職員も、職場に新しい風を吹かせてくれると思います。

新人職員と一緒に利用者の生活をしっかりと支え、魅力ある職場を作っていきましょう!